

2024年度は31名の研修医の方々が当院で研修をされました。  
提出いただいた感想文を掲載しています。

鹿児島大学病院 本田 七海（研修期間：2024年4月）  
鹿児島大学病院 今福 渚（研修期間：2024年4月、5月）  
鹿児島大学病院 飯野 友海（研修期間：2024年4月、5月）  
福岡大学 副島 太郎久（研修期間：2024年5月）  
南風病院 植田 直生（研修期間：2024年6月）  
鹿児島医療センター 石丸 綺梨（研修期間：2024年6月）  
鹿児島大学 松枝 奏茉（研修期間：2024年7月）  
鹿児島医療センター 松下 朋彦（研修期間：2024年7月）  
鹿児島医療センター 田中大智（研修期間：2024年7月）  
鹿児島医療センター 尾辻 良彦（研修期間：2024年7月）  
福岡大学病院 松尾 健人（研修期間：2024年7月）  
済生会松山病院 大政 洸星（研修期間：2024年8月22日～9月11日）  
鹿児島市医師会病院 池田 祐一（研修期間：2024年9月）  
福岡大学病院 宮里 衣望（研修期間：2024年9月）  
鹿児島大学病院 是枝 陸（研修期間：2024年9月、10月）  
済生会松山病院 大谷 通隆（研修期間：2024年9月19日～10月9日）  
福岡大学病院 橋本 周弥（研修期間：2024年10月）  
北海道大学病院 小澤 隼（研修期間：2024年10月）  
済生会松山病院 渡邊 誠（研修期間：2024年10月17日～11月6日）  
福岡大学病院 紙谷 雛子（研修期間：2024年11月）  
鹿児島大学病院 尾辻 香名（研修期間：2024年11月）  
鹿児島大学病院 濱田 良子（研修期間：2024年11月、12月）  
鹿児島大学病院 瀬戸 瑞稀（研修期間：2024年12月）  
福岡大学病院 松本 尚也（研修期間：2024年12月）  
福岡大学病院 井上 愛美（研修期間：2025年1月）  
福岡大学病院 古賀 匡貴（研修期間：2025年1月）  
福岡大学筑紫病院 寺井 誠（研修期間：2025年1月）  
福岡大学病院 古賀 匠（研修期間：2025年1月）

## 鹿児島大学病院 研修医2年 本田 七海

今回1ヵ月間外科で研修をさせていただきました。種子島には一度観光で来たことがあったのですが、コロナの影響もあり、雨続きではありましたが、しっかり満喫できたのは今回が初めてでした。

診療科については、学生の頃から消化器に興味があり、4月は入局先をまだまだ悩んでいる段階でもあるため、外科での研修は大変勉強になりました。手術では内視鏡のカメラ操作や助手もさせていただき機会があり、術式や解剖についてもその都度教えていただいたため、一つ一つの手術で多くの事を学びながら参加することができました。

また、時間がある時にはシミュレーターでの練習も行い、月初めと比較すると格段に上達し、他施設との遠隔授業でも様々な縫合法やコツについて学ぶこともできました。外科研修以外でも、診療所や訪問診療、学校検診にも同行することで地域医療ならではの患者様との関わり方、医療普及の重要性を経験する機会となりました。

1ヵ月間と短い間でしたが、多くの方々にご指導いただきながらのこの貴重な経験を今後しっかりと活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

(研修期間：2024年4月)

## 鹿児島大学病院 研修医2年 今福 渚

種子島医療センターでは、4月に外科、5月に整形外科で研修をさせていただきました。外科では虫垂炎や胆嚢炎・胆石症・胆嚢炎、整形外科では大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折といった一般的な疾患が多く、初期診療から手術、術後の処置やリハビリの経過まで学ぶことができ良かったです。また、島特有の疾患ということでマムシやムカデ咬傷、犬・猫咬傷、農作業中の怪我の患者さんへの処置や対応も学ぶことができました。

診療科以外の研修では、訪問診療に同行させていただいたり、診療所での外来診療を見学させていただいたりしました。高齢者が多く、持病があっても地元や自宅での暮らしをしたい方や、積極的な入院を望まない方など、都市部とは違った医療を求められていると感じました。4月には学校検診もあり、健康な子ども達を診るという貴重な経験となりました。

2ヵ月間、大変お世話になりました。診療科の先生方や職員の皆様がとてもお話ししやすく、手術や初期対応について丁寧に教えていただき、研修についてわからない点は何でも聞くことができ、安心して研修することができました。休日は島の観光も楽しむことができ、種子島での生活を満喫した2ヵ月でした。ありがとうございました。

(研修期間：2024年4月、5月)

## 鹿児島大学病院 研修医2年 飯野 友海

種子島での2ヵ月間は、主に整形外科を研修させていただきました。島で唯一整形外科手術を担っている病院であり、骨折・外傷などの緊急性のある症例に、高齢者を中心とした多くの外来患者の対応と、日々島の医療に奔走する先生方と働かせていただけて良い経験ができたように思います。整形外科の先生だけでなく、外科の先生にも指導いただく機会もあり、大学のような規模の大きい病院と比べ、少人数ゆえに他科との距離を近く感じられました。医療資源の限られた中で互いに助け合いやすい雰囲気ができており、好感が持てました。

訪問診療や診療所での経験も、大変興味深いものでした。事情は様々であったと思いますが、家で最期を迎えたいと考える患者・家族の希望に合わせて必要最低限の介入を行い、看取りまで診る。その一部始終をみて、最期の迎え方について考えさせられるものがありました。

物流の不便や天候に左右される点ではありますが、とても過ごしやすい島だなと感じました。また機会があれば訪れようと思います。

(研修期間：2024年4月、5月)

## 福岡大学病院 研修医2年 副島 太郎久

1ヵ月間なんてあっという間でした。知り合いもおらず、知らない土地で過ごすということでもかなり緊張していました。外科を1ヵ月研修するということで、一度も過去に研修したことがなくわからないことだらけでしたが、濱之上先生、大久保先生、金城先生にいろいろな事を教えていただきました。オペでも積極的に参加させていただき、カメラ持ちや縫合などをやらせていただきました。経験できた疾患も幅広く本当にいい経験になりました。可能な限り島の中ですべてを完結させるという考えのもと術後の管理なども考えて行っている先生たちを近くで見ることができて勉強になりました。

種子島自体も大好きになりました。食事はおいしい、価格もかなり安い。苦竹なんて普通のタケノコよりもおいしいじゃないかと思ったほどです。島の焼酎も極上でした。大久保先生おすすめの蔵弥一は後味が甘くておいしかったです。

海もきれいで、緑も沢山あって空気を吸うだけでもリラックスできました。本当に大好きになりました。心残りはロケットの発射を見ていないことです。機会があれば見に来たいと思います。1ヵ月間本当にありがとうございました。

(研修期間：2024年5月)

## 南風病院 研修医2年 植田 直生

1ヵ月間の地域医療研修お世話になりました。鹿児島県という特性上、離島で行われている医療というものを経験してみたい、貢献したいという思いは常にあり、今回このような研修を行うことができたことは非常に有意義でした。

今回の研修で感じたことは、離島で行われている医療も行っていることはほとんど同じであるということでした。もちろん機材や施設にないものなどはあるかもしれませんが、医師やコメディカルの方々の患者さんと向き合う姿勢は同じだと思いました。勉強になったのは職員間の距離が親密な点かなと思います。とくに医師においては、科を超えた交流が盛んであり、種子島医療センターというチームで動いているなと感じました。

1ヵ月という短い期間でしたが、研修を受け入れてくださった外科の先生方には大変お世話になりました。他の職員の方々もとても親切にさせていただき、温かい気持ちで研修をすることができました。種子島で研修したということが今後の医師生活で大きな糧になると実感しております。1ヵ月間ありがとうございました。

(研修期間：2024年6月)

## 鹿児島医療センター 研修医2年 石丸 綺梨

初期研修医の地域医療研修として今回種子島医療センターでローテーションさせていただきました。鹿児島出身で今までずっと鹿児島で育ってきたにも関わらず、種子島自体に来たのが初めてでした。

種子島医療センターでは外科を1ヵ月間回らせていただきました。手術の助手や初めての執刀をやらせていただき、とても貴重な経験になるとともに手術を今までとは違う視点でみるようになり、より一層手術が難しくかつ面白いものとなりました。救急外来ではマムシ咬傷や海難事故、斧などによる割創など本土ではなかなかみられない症例をたくさん経験させていただきました。診療所や訪問診療は、初めて実際に見学させていただき、島民の方との距離の近さや島での医療のあり方など地域医療についてさらに学ぶことができました。

研修だけでなく、多くの先生方や島民の方ともプライベートでも交流させていただいて、とても充実した研修となりました。今後医療に携わる上で今回の研修で学んだことを活かして行きたいと思います。1ヵ月間ありがとうございました。

(研修期間：2024年6月)

## 鹿児島大学病院 研修医2年目 松枝 奏菜

種子島では1ヵ月間、脳神経外科を研修させていただきました。種子島には祖母の家があり、小さい頃からよく訪れていたので馴染みのある地での研修を楽しみにしていました。

脳神経外科では、脳卒中やくも膜下出血、外傷疾患など様々な症例を経験させていただきました。脳卒中などの内科的治療だけでなく、くも膜下出血に対するコイル塞栓術、内頸動脈狭窄に対するステント留置など血管内治療も経験することができました。また、LPシャント術、開頭血腫除去術、減圧術など外科治療も経験でき、脳外科の幅広い分野を学ぶことができました。

種子島医療センターにはリハビリ病棟があり、急性期治療を終えた後、帰宅に向けリハビリを行う姿も見ることができました。大学病院では急性期治療ばかり見ることが多く、リハビリし自宅での生活をどのようにしたら送っていけるか考える機会があまりなかったので良い経験となりました。

脳神経外科以外に、救急でも搬送された患者の対応をさせていただきました。7月ということもあり熱中症やハチ刺傷など島ならではの疾患も経験でき勉強になりました。交通外傷も今月は多く、救急の先生に一から教えていただきながら外傷患者の対応をさせていただきました。

また、多発外傷患者をヘリで搬送するという経験をしましたが、島内の医療資源でできることを把握し、ヘリの搬送をするべきか否かを判断しなければならぬので離島医療ならではの難しさを感じることができました。

1ヵ月という短い期間でしたが、脳外科だけでなく救急科の先生、内科の先生方から優しく指導いただき充実した研修ができました。ありがとうございました。

(研修期間：2024年7月)

## 鹿児島医療センター 研修医2年 松下 朋彦

1ヵ月間種子島医療センターで整形外科の研修をさせていただきました。鹿児島大学病院の整形外科も研修させていただきましたが、毛色は全く違いました。一般的な外傷や交通事故で搬送されてくる患者を多く見ることができ、期待通りの研修ができました。特に印象に残った症例としては船のスクリューで手掌を切った海洋汚染の症例、中手骨の開放骨折でDIP関節が離開している症例などがあつた。

手術においても、骨切りの感覚を体験させていただいたり、転子部骨折の横止めスクリューを打たせてもらったりした。整形外科以外の症例としてはマムシ咬傷こそなかったものの、ハチ咬傷の対応を学ぶことができた。コロナ肺炎の患者をドクターヘリで搬送する際、付き添いをすることもできた。

今月は発熱外来も研修医が担当することになった。研修している科の症例が見られなくなったり、コロナに感染する人が出たりと大変だったが、離島での医療スタッフ不足の実態を身をもって実感することができた。

地域医療で感じたことは、狭い地域であるからこそ、身近な人の多くが病院とのつながりがあり、密接に関わっているということである。地域に根ざした病院はオーダーメイドに近い医療が提供できる利点がある一方、スタッフや医療資源の不足などの欠点があることを知った。

また研修開始初日に同期と相部屋であることを告げられたり、同期がコロナに感染したら急に引越しを要求されたり、引越し先に別の先生が泊まるという理由でもう一度相部屋に引越しさせられたり、10kgのスーツケースを抱えて宿泊先を転々とする、かなり負担が大きい生活を強いられたのが大変だった。部屋が用意できないことを前もって連絡するなど、研修医をもう少し尊重して欲しいと感じた。

(研修期間：2024年7月)

## 鹿児島医療センター 研修医2年 田中 大智

種子島医療センターでは、主に外科で研修させていただきました。元来、外科系に興味があったため、数多くの手術に参加できる環境は、将来の進路を考える上でとても有意義でした。また、腹痛を主訴に救急外来へ来院点・搬送された患者さんの診察、検査、治療、退院までの一連の流れを間近で見られたこともいい経験でした。外科での研修の他に、診療所や訪問診療での研修の機会もあり、より地域に密着した医療の提供のされ方を自分で足を運び、実際に目で見て感じることができました。離島という制限のある環境においては、最良な医療を提供しようと奮闘されている医療スタッフの方々の姿勢や、人と人との距離の近さを生かした密接なコミュニケーションがとても重要であるということ学びました。

種子島医療センターのスタッフ皆様方の手厚いご支援、ご指導を賜り、今後の医師人生において重要な糧となる実り多い研修となりましたことを心から御礼申し上げます。

(研修期間：2024年7月)

## 鹿児島医療センター 研修医2年 尾辻 良彦

将来循環器内科志望で、高尾院長の勧めもあり、循環器内科で研修させていただきました。これまで回ってきた病院では精神科や産婦人科といった専門性の高い科を回ってきたこともあり、鹿児島医療センター外でメジャー内科を回るのは初めての経験でした。

始めにカルテを見て驚いたことは、循環器疾患とその他の疾患で入院されている人の割合がほぼほぼ1:1であったことでした。鹿児島医療センターにも呼吸器内科はないので肺炎などの患者さんは診るのですが、ここまで多種多様に内科疾患が集められていることには驚きました。そして、循環器の先生方がなんの違和感もなく各患者さんの診断から治療方針までしているのを目の当たりにし、研修医のうちに経験できる数と少なくとも初期対応に関してはある程度頭にいれておいた方がいいなど、再度研修での意欲を燃やしております。

研修だけでなく種子島の生活は楽しいものでした。同居など家族以外としたことなく、意外と気を遣わないなど思いながら、1ヵ月楽しく過ごすことができました。

また飲み会の頻度も多く、毎日どこかしらの科が飲んでいる状況で、大学時代を思い出すと同時に、先生たちの体力の底しれなさを思い知りました。

種子島での研修では、先生方、スタッフの皆様には様々迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。1ヵ月間ありがとうございました。

(研修期間：2024年7月)

## 福岡大学病院 研修医 2年 松尾 健人

今回、地域研修の1ヵ月を種子島医療センターで終えることができました。人生で初めて離島で1ヵ月生活するということもあり、種子島に向かうフェリーではとても憂鬱な気持ちになっていました。しかし、生活していくうちに種子島での生活がとても好きになり、都会では味わうことができない充実した日々を送ることができました。

勤務に関しては、将来内科医になるということもあり、糖尿病内科の先生方から血糖管理についてなど丁寧に教えていただくことができ、勉強になりました。また大学病院では、自分が主体となって治療方針を考える機会があまりなかったため、今回治療方針を自分で考え、上級医の先生に相談しながら臨床での経験を養えたことはとてもいい経験でした。

プライベートでも、仕事終わりや休日にサーフィンに行くことができ、自然のありがたみを感じることができる極上の趣味を見つけることができました。仕事においてもプライベートにおいてもこれ程充実した日々を送らせていただける種子島医療センターには感謝の意しかありません。今後の人生においてとても貴重な1ヵ月を送らせていただきました。ありがとうございました。

(研修期間：2024年7月)

## 済生会松山病院 研修医 2年 大政 洸星

3週間という短い期間でしたが、種子島医療センターでは麻酔科で研修をさせていただきました。

種子島に来てまもなく台風10号が到来し、激しい風雨にさらされました。温室生まれ温室育ちの僕にとって、この世の終わりかとも思える数日間でした（愛媛県松山市は災害が少ないです）。手術中に停電が起きるなどのイベントもあり、症例発表の題材にもさせていただきました。

離島の環境で研修をするのは初めてでしたが、麻酔の準備から導入、維持、覚醒までサポートしていただきながらもある程度の裁量を与えていただき、大変勉強になりました。また、自病院であまり行っていない吸入麻酔や、先生によってまったく違う麻酔への考え方、手法など興味深く研修させていただきました。

種子島医療センターでの今までにない経験は、これから医者として働いていく上で有意義なものになったと思います。研修でお世話になった先生方やその他の病院関係者の方々、ありがとうございました。

(研修期間：2024年8月22日～9月11日)

## 鹿児島市医師会病院 研修医2年 池田 祐一

私は鹿児島市出身ですが、種子島には今まで行ったことはありませんでした。種子島のイメージは鉄砲、宇宙ロケットといった漠然としたイメージしかありませんでした。実際に観光してみると絶景スポットが沢山あり、寮の近くには美味しいご飯屋も沢山ありました。1ヵ月という短い期間で想像以上の体験をすることができました。

私は地域医療実習において内科を回りました。内科の患者さんは一人ひとり症状が異なり、疾患の鑑別、治療法、病棟での管理は特に初めての経験であり身をもって研修することで勉強する機会を得ることができました。

また、訪問診療では病院に来ることができない患者さんの住まいに実際に赴くことで、その地域に住む人たちの生活についてや背景を知ることができました。外来も実際に何人かの患者さんに対して自分で行うことで検査から診断、治療まで行うことができました。

1ヵ月という短い期間でしたが、ご指導してくださった田上寛容先生や他の診療科の先生方、看護師さんや事務の方々ありがとうございました。

(研修期間：2024年9月)

## 福岡大学病院 研修医2年 宮里 衣望

私は9月の1ヵ月間、糖尿病内科で研修させていただきました。8月末に台風が直撃した直後であり、スーパーは食料不足、病院は繰り越し受診の患者さんが次々と来院する中、種子島での研修がスタートしました。

日々の業務では、糖尿病に限らず、誤嚥性肺炎や加齢による衰弱など高齢者に多い疾患で来られた患者さんの病棟管理や救急対応を経験しました。85歳以上の超高齢者がほとんどであり、プロブレムの多さや全身状態の変化のしやすさ、どこまで検査し治療介するかなど、普段の大学病院研修とはまた違った問題点に直面して地域医療の難しさを実感しました。

また、訪問診療では患者さんの居住環境や生活スタイルも目の当たりにし、今後高齢者医療に従事する際は病態を見て治療を行うだけでなく、その背景や今後の生活についても考える必要があると学びました。

仕事以外では、先生方に食事に連れて行っていただいたり、観光地に足を運んだり毎週充実した時間を過ごしました。家に大きな虫がよく出没したことや、車で狭い道を通っていたら戻れなくなり近隣住民に助けていただいたことなど、大変なこともありましたが、それら全て種子島に来なければ経験できなかったことであり良い思い出です。

最後に、きれいで快適な宿舎と食事の提供、優しく受け入れてくださった上級医の先生方や職員の皆さんのおかげで、不自由なく充実した1ヵ月間を過ごすことができました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

(研修期間：2024年9月)

## 鹿兒島大学病院 研修医2年 是枝 陸

消化器内科で9月、10月の2ヵ月間研修をさせていただきました。一般外来や訪問診療、田上診療所の見学、はたまた救急外来まで、種子島の医療について幅広く経験させていただきました。お世話になりました多くのスタッフの方々に感謝申し上げます。

種子島の医療を支える病院での研修で、意識させられたのが「出来る/出来ない」、「しなければならぬ/しなくても良い」の判断の重要性です。種子島医療センターには様々な重症度の患者が来院していましたが、人的資源・物的資源に関しては、大学や市内の病院と比較すると、制限が強い状況でした。都市の中心部から離れたいわゆる地域医療の現場においては、「今、どれだけの医療的リソースが利用出来て、どれを利用するのか」、「島外のリソースが必要か」などの学問的な正しさに加えて、「実際に行うことが出来るか」、「必要性は高いか」といった様々な要素を考慮する必要があることを、より強く実感させられました。

また、スタッフと患者さんの距離感の近さであったり、診療所に来られた患者さんについて住居やサポート環境について、その場で答えられるほど理解の深いスタッフがいたり、種子島でしか実現出来ない医療の環境があることも体感できました。

医師としてはもちろん、研修医としても力不足な面が多かったと存じますが、消化器内科の先生をはじめ、たくさんの方にご指導いただきまして、感謝の念に堪えません。2ヵ月間、ありがとうございました。

(研修期間：2024年9月、10月)

## 済生会松山病院 研修医2年 大谷 通隆

私が種子島での研修で最初に掲げた目標は、種子島の医療に触れること、特に手術時の麻酔管理がどのように行われているかを学ぶこと、そして自病院とは異なる環境で他の先生方がどのように麻酔を管理しているかを理解することでした。さらに、自然豊かな島の環境や食文化も堪能したいと思っていました。

麻酔科は、担当する医師ごとに考え方や手法が異なり、教科書通りにいかないことも多い科目です。そのため、研修医という恵まれた立場を活かして、できるだけ多くの麻酔科医から学び、多様な経験を積むことが重要だと考えていました。実際の研修では、指導医の多田先生の指導のもと、さまざまな業務を任せていただき、多くのことを学ぶ機会に恵まれました。本当に良い指導医のもとで研修を送ることができたと思っています。

また、多田先生の危機対応能力は素晴らしく、私も将来、多田先生のような緊急時に冷静かつ的確に対応できる医師を目指したいと強く感じました。これからの研修や仕事を通じて、さらに多くの経験を積み、自己研鑽を続けていきたいと思えます。

研修の3週間は決して長い期間ではありませんでしたが、仕事面ではもちろん、疲れた時には広大な海を眺めてリフレッシュするなど、心身ともに充実した日々を過ごすことができました。このような素晴らしい研修の機会をいただけたことに、心から感謝しています。特に、多田先生をはじめ、種子島医療センターの先生方や医療スタッフの皆様に深く感謝いたします。また機会があれば、ぜひ再び種子島を訪れたいと思えます。3週間、大変お世話になりました。

(研修期間：2024年9月19日～10月9日)

## 福岡大学病院 研修医2年 橋本 周弥

2024年10月から1ヵ月間消化器内科で研修させていただき、救急外来にも参加させていただきました。消化器内科の日々の業務では、病棟の患者さんの経過を確認しつつ、主に内視鏡の検査に参加させていただきました。

たくさん症例を経験させていただきましたが、印象に残ったのは自分と是枝先生の発表でも紹介させていただいた、肝硬変を既往とする胃食道静脈瘤が破裂しEVLの処置となった方と胃軸捻転を起こされ内視鏡的整復処置となった2例でした。どちらも消化器内科の先生方の手腕を間近で感じる事ができた貴重な経験をえた症例でした。

救急外来ではファーストタッチを野田先生の指導の下させていただき自身の不甲斐ないところを自覚することもできました。最初のオリエンテーションで病院長よりご説明いただきました通り、この病院には検査機器の充実・レベルの高いリハビリテーションの実施・地域の方々からの信頼を得られる質の高い医療の実施があり、地域医療という資源に限られている中でもここまでの医療を行えるのかと感銘を受けました。将来大学病院以外の病院で働く際にはこういった理念のある病院に勤めていきたいです。

職務以外では種子島の観光もさせていただきました。種子島のおいしい食材を堪能し、森林と海が近く、景色のいい場所が多いため充実した日々を過ごすことができました。また宮田先生にご紹介いただいた締めのカレーうどんが本当においしく、気軽には食べられなくなることが残念です。

最後になりますが、この病院で勤務されている全職員の方々のおかげで、意義のある研修期間を過ごせましたこと感謝しております。本当にありがとうございました。

(研修期間：2024年10月)

## 北海道大学病院 研修医2年 小澤 隼

私は循環器内科で研修させていただき、外来対応や病棟業務、訪問診療や診療所での研修など、多岐にわたる研修を通じて充実した1ヵ月を過ごすことができました。特に病棟では、循環器疾患に加えて、肺炎や尿路感染症など他の疾患で入院されている患者さんを診ることも多く、また、農薬中毒の患者さんを担当する機会もいただきました。この経験を通して、多種多様な内科疾患に対応できる知識と技術を身に付ける重要性を改めて実感しました。

また、訪問診療や診療所での研修では、限られた医療資源の中で、今必要な検査や処置は何か、それらが実施可能であるか、臨機応変に判断する力が必要であると痛感しました。そして、診察の際には、疾患そのものに向き合うことはもちろんのこと、世間話を交えながら患者の生活上での変化や患者家族の近況報告など、病気以外の様々な状況についても細やかに耳を傾け、適宜アドバイスやサポートを行い、より密接な信頼関係を築いていく大切さも学びました。

仕事以外では、先生方や他の研修医の皆さんと食事に出かけたり、休日には種子島を南北に縦断したりと、毎週充実した時間を過ごすことができました。北海道とは大きく異なる豊かな自然環境下で素晴らしい経験をさせていただいたことに感謝しています。残念ながら、日程の都合でロケットの発射を見ることは叶いませんでしたが、いつか再び訪れたいと思います。

最後に、初めての種子島での生活で、病院内外のことと色々とお迷惑もおかけしたかと思いますが、温かく受け入れてくださった先生方や職員の皆様のおかげで、実りある研修期間を過ごすことができました。1ヵ月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

(研修期間：2024年10月)

## 済生会松山病院 研修医2年 渡邊 誠

3週間という短い期間でしたが、種子島医療センターでは救急科・放射線科、また皮膚科、訪問診療・訪問看護で研修をさせていただきました。

救急科・放射線科においては、野田先生の指導の元、さまざまな症例を経験しました。腹部の症状に対して苦手意識があったので、急性腹症の症例及び腹部の画像を中心に研修をさせていただきました。また、診療所での初期対応、及び集団災害救急事故訓練を経験しました。松山市では救急専門医の数が少なく、初めて救急専門医の元で研修を行わせていただきました。feedbackも含め的確にご指導いただき、時には自分の不甲斐なさを噛み締める場面もありました。

皮膚科においては瀬戸山名誉教授に、ご指導いただきました。革新的な治療法をはじめ、診断法を学ばせていただきました。解剖に加え、病態生理を含めた理解を深めることでより皮膚科診察の場においても深みや診断能力の向上を図ることができると感じました。種子島には、HTLV-1感染症であるATLなど九州南部に特異的な疾患をはじめ、マムシ咬傷や皮膚外傷、日光浴に伴う皮膚腫瘍、治療薬の選択など、皮膚科が活躍できる分野が多く見受けられました。皮膚科分野の患者数が多いこともあり、フットワークの軽さが求められていると感じました。

種子島に来て2週間は、土日はずっと雨が降りっぱなしでしたが、最後の1週間に晴れた景色を見ることができました。浦田海水浴場をはじめ、ロケット打ち上げなどとても美しい種子島を見ることができました。

種子島医療センターでの今までにない「ホンモノ」の経験は、これから医者として働いていく上で有意義なものになったと思います。研修でお世話になった先生方やその他の病院関係者の方々、ありがとうございました。

(研修期間：2024年10月17日～11月6日)

## 福岡大学病院 研修医2年 紙谷 雛子

種子島医療センターでの研修を終え、離島での医療と暮らしを体感し、大学病院や市中病院との違いを学び、種子島の魅力を知ることができました。

種子島医療センターでは1ヵ月間、循環器科で研修をさせていただきました。外科志望であり内科での研修経験が比較的少なく、循環器内科・外科ともにローテーションができていないため、今回循環器内科での研修を希望しました。

循環器科の先生方には、緊急の患者さんやカテーテル検査・治療の際は丁寧にご指導いただき、大変お世話になりました。ペースメーカ植込み術の方を受け持ち、ペースメーカの適応や種類など知ることができました。病棟回診では、心疾患に限らず高齢の患者さんに多い疾患について学べたり、循環器コンサルトが必要な状況など教えていただいたりしました。

また他病院の研修医と1ヵ月研修をする中で刺激を受けつつ楽しみもたくさんありました。自然の多い地域ならではの咬傷や他の離島からの患者受け入れなど知らないことも多くありました。鹿児島本土への緊急ヘリ搬送も1ヵ月で何度も耳にして、医療関係者だけでなく自衛隊やその他海路空路の方々も協力して島の安全を守っていることを感じました。医師として緊急搬送を行う判断を下すのは責任のあることですが、離島であることより必要性を見極める必要が高いのではないかと思います。今後自分にもできるのだろうかと思いが引き締められました。

種子島で過ごして、ごはんがとても美味しく休みの日は海辺や観光施設に行き充実した1ヵ月でした。自然の広大な景色や鉄砲館、宇宙関連施設などを見学し、屋久島にも行くことができました。福岡に帰る前には鹿児島もたくさん見て回ろうと思っています。

1ヵ月間研修をするにあたり、先生方をはじめスタッフの皆さん、地域の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(研修期間：2024年11月)

## 鹿児島大学病院 研修医2年 尾辻 香名

自分は鹿児島出身者ではありますが、鹿児島島の島に行くことがなく、研修で2024年3月から5月まで奄美大島研修をし、2度目の島での研修となりました。島ならではのできる限りの医療での経験は今後の自分の医師人生の中でとても経験して損のないものでありました。

来年度は形成外科入局を決めており、整形外科で1ヵ月間お世話になりました。整形外科の先生方は、とても優しく雰囲気も良く、丁寧に教えていただき感謝しております。また、飲み会にもたくさん連れて行ってくださり、とても充実して楽しい1ヵ月間を過ごすことができました。

1ヵ月間ともに過ごした研修医仲間とも仲良くなり、一緒に屋久島旅行やご飯にも行き、鹿児島だけでなく福岡の研修医もいたため、県外の病院はどのような感じであるかなども知ることができました。

研修医としては、発熱外来・ワクチン接種・内科外来を経験しました。内科外来に関しては、今月からで最初外来に行った際には誰もどう進めるかわかっておらず、また自分で最初から最後まで見なければいけないためとても不安ではありましたが、スタッフの方々がとても優しく、できる範囲で貢献できたのではないかと考えております、

1ヵ月間本当にお世話になりました。今後も今回経験したことを活かし、ますます医療に励んでいきたいと思っております。

(研修期間：2024年11月)

## 鹿児島大学病院 研修医2年 濱田 良子

2ヵ月間の研修を通して、島内の医療資源を最大限に活かすということが最も印象に残りました。

訪問診療、診療所、デイサービス、病院など、各役割や相互の連携を見せていただきました。訪問診療同行の際は、患者さんが生き立ちや暮らしを話してくださり、病気をもちながらもその人らしく生き生きと生活されている様子が新鮮でした。地域の歴史や生活を医療者が知っていることが全人的医療において大切だと改めて感じました。また、島外の医療機関との連携については、ランデブーポイントまでの患者搬送を経験させていただきました。多くの人が関わる中で、医師は判断・指揮をとる必要性もあるのだと、緊張感のある場面でした。

医療資源は、マンパワーについても言えると思います。私は糖尿病内科と循環器内科で、検査提出の意義や結果のアセスメントについてご指導いただきました。その際に、マンパワーを意識して必要なものを見極めることが勉強になりました。島外から来られる非常勤の先生方にコンサルテーションする際も、事前に必要な情報を収集したり、ご家族・上級医の先生と方針を整理したりしておくことが重要でした。難しさもありましたが良い経験をさせていただきました。

仕事以外では、休日に種子島宇宙センターや屋久島観光をし、自然と文化あふれる島の魅力を堪能できて楽しかったです。島民の方のまた来てねという言葉に、心が温かくなりました。

至らない点もあったかと思いますが、先生方・職員の方々に見守っていただき充実した2ヵ月になりました。本当にありがとうございました。

(研修期間：2024年11月、12月)

## 鹿児島大学病院 研修医2年 瀬戸 瑞稀

今回1ヵ月間、種子島医療センターで研修をさせていただきました。診療科は今後神経内科に入局予定であることから脳神経外科を選択しました。12月には外科手術症例が少なかったのですが、内頸動脈狭窄に対するステント留置をみることができました。また、脳卒中患者や頭部外傷患者の救急外来対応も経験することができ、頭部MRI・CTの見方を丁寧に教えていただきました。

特に勉強になったのは外来研修です。ワクチン接種は今までの研修病院で行う機会が少なく自信がなかったのですが、この1ヵ月でたくさんの人に打てました。発熱外来では患者さんに症状に合った処方薬を出す練習になり、一般内科外来では色々な主訴の患者さんに、ほぼ自分一人で方針を決めていくので、かなり勉強になりました。おかげで学習意欲が今までになく高まり、空いた時間も研修医待機室に置いてくださっている参考書をかなり読み込みました。そのほか、訪問診療や診療所での見学から島の医療の様子を知ることができ、大学病院ではみられない慢性期の医療も学びました。

種子島での観光においては、季節柄、マリンスポーツなどは体験できませんでしたが、宇宙センターやマングローブ、千座の岩屋などの名所や島らしい景色・グルメを楽しむことができました。

1ヵ月間と短い間でしたが、多くの先生方、コメディカルの皆さんにご指導ご鞭撻をいただき、貴重な経験を積むことができました。本当にありがとうございました。

(研修期間：2024年12月)

## 福岡大学病院 研修医2年 松本 尚也

私は12月の1ヵ月間、糖尿病内科にて研修をさせていただきました。日々の業務では入院中の方の血糖コントロールだけでなく感染症や電解質異常といった内科全般の様々な疾患を指導医の先生方のご指導の下、チームの一員として担当させていただきました。

その他にもワクチン接種や発熱外来、一般内科外来などでは「研修医」としてではなく1人の「医師」として患者様の診療に従事する機会をいただきました。最初のうちは知識も経験も足りず、上級医の先生方や周りのスタッフの方々にご指導いただき、なんとか診療していました。その後日々の診療で経験したことや自分で学んだことが段々と実を結び、少しずつではありますが自分の診療に成長を感じ、自信を持てるようになっていき、2年間の研修生活の中で1番密度の濃い1ヵ月となりました。

このような素晴らしい研修の機会を与えてくださった種子島医療センターには感謝の念しかありません。関わってくださった全ての先生方、スタッフの皆様には感謝の言葉もありません。この1ヵ月の経験を糧に、今後も良い医療者として研鑽を続けていきたいと思っています。

(研修期間：2024年12月)

福岡大学病院 研修医 2年 井上 愛美

2025年1月6日、朝早くに福岡を出発し、鹿児島  
の港からトッピーに乗船しました。波は高く船内は  
揺れ、船酔いしながらの90分は地獄の様相。いざ種  
子島へ上陸した際、透き通った青い海と爽やかな潮  
風は、旅の疲れを吹き飛ばすに十分でした。

種子島医療センターでの研修に期待していたこと  
は、高齢化が進む地域では、医療がどのような役割を  
背負っているか、その一端を知ることでした。用意い  
ただいたプログラムには、往診への同行や診療所で  
の診察補助など、地域を支える医師と患者の関わり  
を間近で見る機会がありました。住民の方々の医師  
に対する信頼の強さは、医療者として、責任感を強く  
抱くきっかけとなるものでした。また、循環器内科の  
先生方からの指導は、診療科に拘らず内科全般の考  
え方を学ぶもので、大変勉強になりました。急性期か  
ら慢性期まで、柔軟に対応されている先生方の姿は、  
診療経験の実力差を痛感するものでした。医療職の  
在り方を学べたと思っています。

一方、馬毛島での自衛隊基地の建設が佳境で、24  
時間体制の作業が行われており、日没後は海岸から  
見える馬毛島が煌煌と光っている景色が印象的でした。  
夜間に事故が発生した場合の救命救急の方針など  
が会議されている様子など、歴史の一端を垣間見  
ているようで、この時期に研修へ参加できて良かった  
です。

この1ヵ月で学び、感じたことは、今後の医師人  
生にも生かしていきたいです。最後になりましたが、  
お世話になった先生方、スタッフの方々、サポートい  
ただいた事務の方々には、心より感謝を申し上げます。

(研修期間：2025年1月)

福岡大学病院 研修医 2年 古賀 匡貴

私は、離島医療を肌で感じてみたいと思い種子島  
医療センターでの地域医療を希望し、来年度から小  
児科を専攻する立場として、頭部CTやMRIの画像  
診断に強くなりたいという思いから脳神経外科を選  
択しました。

上級医の先生方には、脳出血や脳梗塞などの基本  
的な画像の読影方法を教えていただきながら、小児  
科での読影で注意すべきことも併せて指導してい  
ただき、今後小児科医として診療していく上でため  
になる知識を習得できました。

今月は救急搬送の数が少なく緊急手術の機会は少  
なかったですが、慢性硬膜下血腫の穿頭血腫洗浄術  
や気管切開などの手術に入ることができ、良い経験  
となりました。また、大学病院では普段することがで  
きない外来診療は、最初は緊張や不安を感じるこ  
とが多かったですが、今では、病歴聴取・検査オー  
ダー・方針決定まで限られた時間でしなければならない  
という状況に身を置くことで、知識と経験の両面  
から医師としてのスキルを磨くことができる良い機  
会となったと感じています。

改めて、この種子島医療センターで地域研修をす  
ることができ、本当に良かったと感じています。貴重  
な経験を与えてくださったすべての先生方、スタッ  
フの皆さん、1ヵ月間ありがとうございました。

(研修期間：2025年1月)

## 福岡大学筑紫病院 研修医2年 寺井 誠

1月の厳しい冬風のなか、人生初の離島での生活に期待と不安を背負いながら福岡を出発しました。普段の仕事や生活環境との違いに戸惑うことも多々ありましたが、振り返れば種子島医療センターでの1ヵ月間は非常に収穫のあるものとなりました。

私は消化器内科を回りました。消化器内科では内視鏡検査を数多く見学し、胃カメラの操作も何度か経験させていただきました。胃カメラの操作は外から見る以上に難しく、最初はかなり苦戦しましたが、1ヵ月間のうちに少しずつコツをつかむことができました。私は消化器内科に入局が決まっており、消化器内科医になるために必要なスキルをこの種子島医療センターで身につけることができました。

種子島医療センターでは内科外来も経験させていただきました。研修医2年間で外来をした経験がほとんどなく、検査や治療方針や処方薬の判断が自力でできず、上級医や研修医同期に相談し、力を借りながらなんとか外来を担当していました。己の知識不足を痛感し、落ち込むことも多々ありましたが、何度も経験するうちにこの1ヵ月間のうちに自分で判断する力や度胸が養われました。

種子島医療センターでは研修医同期に恵まれ、週末には研修医同期で島のあちこちをドライブしたり、釣りをしたり、居酒屋で飲んだりなど、充実した生活を送ることができました。種子島の景色はどこを見ても非常に良く、島の青々とした海や一面に広がるサトウキビ畑を見て島の生活が自然に恵まれ豊かであることを感じました。島の料理や焼酎も非常に美味しく飽きることがありませんでした。

最後にお世話になった宮田先生や徳田先生をはじめ指導してくださった先生方、研修をするにあたって素晴らしい環境を用意してくださったスタッフの方々にこの場を借りて御礼申し上げます。1ヵ月間ありがとうございました。

(研修期間：2025年1月)

## 福岡大学病院 研修医2年 古賀 匡

この1ヵ月間の種子島医療センターでの研修を終え、沢山の学びと経験を得ることができました。

私は整形外科で研修をさせていただきました。研修内容としては手術助手をメインとしながら、外来でも学ばせていただくという形式でした。今私が所属している病院は外来見学の機会が少ないのですが、今回じっくり見学することができ、外来ならではの知識が深まりました。

手術では大腿骨転子部骨折骨接合術の執刀を担当する機会をいただきました。3人の優しい先生方にご教授いただきながら、複雑でない手技のみを担当するような形式での手術でした。普段助手として見ている術野に自ら手を加えることができ、今まで気づかなかった注意点や操作法を知り経験することができました。

研修以外では島の観光と食を存分に楽しむことができました。同期が4人とも福岡大学の研修医で顔見知りだったのもあり、週末は一緒に島を旅していました。特に印象深かったのは千座の岩屋や各地の海岸です。岩の形や入り組んだ地形を見て海の力強さを感じました。鉄浜海岸や浦田海岸は綺麗な印象で、また岩屋とは違った魅力がありました。

短期間でも離島に住むのが初めてで、来る前はイメージがつかなかったのですが、人が温かく食も美味しい、自然が豊かな島でした。週末含め、最高に楽しい研修でした。ありがとうございました。

(研修期間：2025年1月)